

日光宇都宮道路の逆走対策状況

令和6（2024）年9月9日（月）
栃木県道路公社 施設管理部



1. 現状

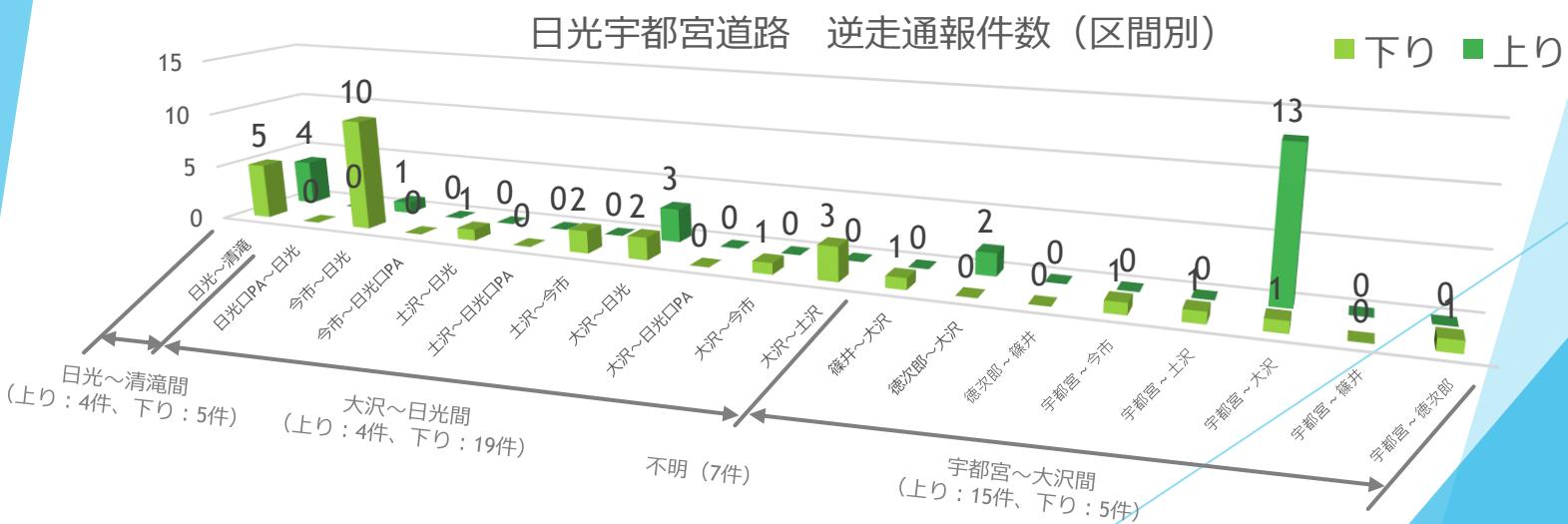
自動車専用道路である日光宇都宮道路では、逆走は重大事故に繋がることから、その発生防止の取組みを続けています。

しかしながら、日光宇都宮では過去5年間にも次のとおり逆走が発生しています。

年度	発生・通報件数 【A】	【A】のうち、 通行止実施件数	【A】のうち、 確保件数 【B】	【B】のうち、 高齢者 (70才以上) 【C】	備 考
R1	10	5	2	2	【C】のうち1件 認知症疑い
R2	11	4	5	2	【C】のうち2件 認知症疑い
R3	9	1	0	0	
R4	16	1	0	0	
R5	6	4	2	2	【C】のうち1件 認知症疑い
R6	7	3	1	1	【C】のうち1件 認知症疑い
計	59	18	10	6	



※R6は、9/1までの集計



2. 発生原因

逆走は、110番通報、パトロールや監視カメラでの発見によりその発生を把握するものの、短時間での確保には限界があり、逆走車の確保に至るケースが少なく、逆走となつた経緯や逆走を開始した地点がすべて判明しているものではありません。

逆走車への聴き取りや目撃情報から、概ね次のケースが推測されます。

- ① 料金所ゲートの無い出口のランプ線を入口と勘違いして誤進入したり、PAへの入口と出口を勘違いして本線に乗ってしまい、逆走。
- ② 入口ランプ線から本線に合流する際、目的方向を誤っていることに気づき、逆走。
- ③ 有料道路との認識がなく進入し、料金所が見えたためUターンし、逆走。

3. これまでの対策状況

- ① 料金所ゲートの無い出口ランプ線やPAへの入口に、注意喚起の標識設置を行っています。
- ② 入口ランプ線やPAから片側2車線の本線に合流する部分に、走行方向を示す矢印や逆走方向に右折しやすくするコーンの設置を行っています。
- ③ 逆走車情報が入った場合には、即時に料金所を通行止めとするなど、逆走車が排除されるまでの安全確保を行っています。また、公社職員においても料金所通行止め訓練を定期的に行っています。



4. 今後の対策予定

- 逆走対策については、先進事例等を踏まえながら、引き続き、発生状況の分析や必要な対策の検討を進め、県や関係機関と連携して取り組んでいきます。

